

トピックス

「-TSUNAGU広島-2025」の開催

ひろぎんホールディングスは、2025年11月5日(水)、6日(木)に広島ベンチャーキャピタルおよび中国新聞社と共催で、広島県内を中心とした地域企業と国内外の有望なスタートアップをつなぎ、オープンイノベーションを促進するためのマッチングイベント「-TSUNAGU広島-2025」を開催しました。本イベントには、国内外のスタートアップ138社が出席し、2日間で約5,500名が来場するなど、地域企業とスタートアップとの間で活発な商談や交流が行われました。

広島県内を中心とした地域企業においては、「ものづくり」を軸に、製造業からサービス分野まで幅広く発展してきた一方、労働力人口の減少やデジタル化の進展、技術革新や市場環境の変化への対応を背景に、生産性向上や新事業開発、ビジネスモデル転換への取組みが一層求められています。本イベントは、こうした課題に対し、スタートアップが有する新たな技術やビジネスモデルを地域企業の成長や課題解決に結び付ける機会を提供するものです。

2026年はこれまでの成果を踏まえ、10月に福山市、11月に広島市の2地域で開催し、開催規模および開催エリアを拡大することで、より多様な企業とスタートアップの事業共創の機会を創出していきます。



「TOKYO GIRLS COLLECTION」への参画

ひろぎんホールディングスは、2025年12月6日(土)に開催された『ヒロマツホールディングス presents TGC HIROSHIMA 2025 by TOKYO GIRLS COLLECTION』に特別協力として参画し、当日はのべ約9,500名の方々にご来場いただきました。

広島では全国的なイベントが少ない現状があり、地域の活性化を目指して、2023年9月に東京ガールズコレクション(以下「TGC」)を企画・制作する株式会社W TOKYOと「地方創生の推進に関する連携協定書」を締結しました。この協定を基に、広島の魅力を発信する大型イベントとしてTGC 広島 2025が開催されました。

被爆80年という節目の年に、平和だからこそファッション・音楽・芸術・文化・スポーツなどのエンターテインメントを楽しめる広島の魅力を、TGCのプラットフォームを活用して、若年層を中心に国内外へ発信することができました。

地域の発展なくして、私どもの発展はないと考えております。今回の開催が、若年層に地域の魅力を感じていただくきっかけとなり、地域経済力の底上げにつながれば幸いです。



「自動車産業支援にかかる広域連携協定書」の締結

2026年2月27日(金)、広島銀行をはじめ、自動車産業支援に注力する地方銀行8行(株式会社足利銀行、株式会社群馬銀行、株式会社静岡銀行、株式会社中国銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社広島銀行、株式会社山形銀行、株式会社横浜銀行)は、同分野での取組みを高度化するため、協定書を締結いたしました。

各行の営業エリアにおける地域特性を考慮し、それぞれが有する知見やネットワークを活用したサプライチェーンの維持・強靱化に資する共同施策を実施することで、地域を超えて地元企業の中長期的な成長支援に取り組み、地域経済の活性化に貢献してまいります。

主な連携内容は以下の通りです。

具体的な業務連携内容

- 商談会、マッチングイベント等の開催
- スタートアップ、ベンチャー、DX領域での協業によるお取引先の新事業創出支援
- 人材育成・人材交流の取組み
- M&A関連の情報交換の活性化 等



ひろぎんホールディングス

2026年3月期ミニディスクロージャー誌(営業のご報告)

HIROGIN HOLDINGS REPORT

会社概要

名称	株式会社ひろぎんホールディングス Hirogin Holdings, Inc.
本社所在地	広島市中区紙屋町一丁目3番8号
設立	2020年10月1日
資本金	60,000百万円
証券コード	7337

当社ホームページ内「株主・投資家情報」に詳しい情報を掲載していますので、ご覧ください。



社長就任にあたってのご挨拶

Purpose (当社グループの『存在意義』)

幅広いサービスを通じて、
地域社会と共に、「未来を、ひろげる。」

代表取締役社長

廣江 裕治



このたび、ひろぎんホールディングスの代表取締役社長に就任いたしました廣江でございます。微力ではございますが、地域社会ならびに当社グループの持続的な発展に向け、全身全霊を傾けてまいり所存でございます。何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。社長就任にあたり、まず取り組むべき最優先事項は、「中期計画2024」の着実な達成であると考えております。これまでの2年間においては、金利上昇をはじめとする外部環境の変化や、お客さまからの温かいご支援、そしてグループ役職員一人ひとりのたゆまぬ努力の結実として、2年連続で過去最高益を計上いたしました。さらに本年5月には、今後の市場環境の変化を見据え、中期計画における収益性の経営指標である連結ROE(自己資本利益率)目標を、従来の9.5%以上から11%以上へと見直しました。

「中期計画2024」の後半3年間においては、広島銀行を中核にグループ各社の機能を結集し、総合的なソリューションの提供を通じて、地域社会やお客さまへのさらなる貢献に努めるとともに、経営指標の達成に邁進してまいります。

また、「中期計画2024」では、「地域の成長なくして、当社グループの成長なし」という揺るぎない信念のもと、「活力ある地域の実現」を目指し、3つの地域活性化指標を掲げております。具体的には、①広島県の人口社会増減の減少幅の縮小、②広島県の観光消費額の継続的な増加、③広島県の温室効果ガス排出量の継続的な削減を目指しております。行政や地域の皆さまと連携・協働し、広島という地域が持つ可能性を最大限に引き出し、地域の未来をひろげてまいります。

当社グループは、2020年の持株会社体制への移行を経て、(地域総合サービスグループ)として進化を続けております。金融サービスに加え、IT・DX支援や人材紹介をはじめとする非金融分野においてもソリューションを提供することで、お客さまの幅広いニーズにお応えできる態勢を構築してまいりました。今後も、企業価値の持続的な向上を通じて、すべてのステークホルダーの皆さまの期待に応えていくことが、経営者として果たすべき責務であると考えております。PBR(株価純資産倍率)1倍を上回る水準の安定的な維持・向上に向けて、持続的な利益の積み上げによるROEの向上を図るとともに、成長投資と株主還元バランスを重視した経営を推進してまいります。

引き続き、ひろぎんホールディングスに対し、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ひろぎんグループは『幅広いサービスを通じて、
地域社会と共に、「未来を、ひろげる。』』ために、

Be Reliable	お客さまや地域社会と正面から向き合い、 もっとも信頼される存在へ
Be Welcoming	地域の一人ひとりにとって身近で、 だれにでも開かれた存在へ
Be Creative	業界初・地域初を切り拓いてきた創造力に磨きをかけ、 独創的で魅力ある存在へ
Be Proactive	私たち自身が地域の活力につながる、 前向きで活気あふれる存在へ
Always with Integrity	すべての起点として、お客さまや地域社会、仲間に対して、 いつでも誠実な存在へ

私たちは、そう思ってもらえるグループを目指していきます。

プロフィール

氏名	廣江 裕治(ひろえ ゆうじ)
出身地	広島県福山市
主な経歴	(ひろぎんホールディングスは、以下「ひろぎんHD」と記載) 1989年 3月 明治大学 法学部 卒業 1989年 4月 広島銀行 府中支店 入行 2011年 4月 同 吉島支店長 2013年 4月 同 融資企画部 融資企画室長 2016年 4月 同 福山胡町支店長 2018年 4月 同 人事総務部長 2020年 4月 同 執行役員 呉支店長兼呉市役所出張所長 2022年 4月 同 常務執行役員 2022年 6月 同 取締役常務執行役員 2024年 4月 ひろぎんHD 専務執行役員 広島銀行 取締役専務執行役員 2024年 6月 ひろぎんHD 取締役専務執行役員 2026年 6月 ひろぎんHD 代表取締役社長(現任)
座右の銘	笑門来福 ~笑う門には福来る~
仕事において心がけていること	常に双方向のコミュニケーションを意識し、 相手の話をしっかり聞くよう努めています。

2026年3月期決算ハイライト

親会社株主に帰属する当期純利益 **437**億円

1株当たりの年間配当金 **58**円

「中期計画2024」における経営指標

継続的かつ着実な利益の積上げ(内部留保の積上げ)と株主還元バランスの取れた経営の展開

連結純資産に対する収益性向上

連結ROE (2026年3月期末実績) **8.2%**
「中期計画2024」
最終年度である2028年度に目指す水準 **11%**以上
(「9.5%以上」から上方修正)

$$\text{連結ROE} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{期首・期末平均純資産}}$$

※ 新株予約権・非支配株主持分除き

健全性確保

連結自己資本比率 (2026年3月期末実績) **10.8%**
「中期計画2024」
最終年度である2028年度に目指す水準 **10%**程度

$$\text{連結自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額}}{\text{リスク・アセットの額}}$$

1株当たりの純資産向上

連結BPS (2026年3月期末実績) **1,904**円
「中期計画2024」
最終年度である2028年度に目指す水準 **2,200**円以上
(「2,000円以上」から上方修正)

$$\text{連結BPS} = \frac{\text{期末純資産}}{\text{期末発行済株式数(自己株式除く)}}$$

※ 新株予約権・非支配株主持分除き

株主還元方針
についてはこちら



株主優待の
ご案内はこちら

